

／ 鳥取県立美術館の教育普及担当発 不定期刊行物 ／

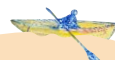
# A.L.L. オール 通信

アート・ラーニング・ラボ

つうしん

JUNE.2025  
No.

4  
FREE



展覧会の鑑賞のほかに、  
美術館でどんなことが  
できますか？

「美術館でできること」といえば・・・？  
例えば、作品を鑑賞したり、作品に  
関する講演や解説を聞いたりすること  
を思い浮かべる方も少なくないで  
しょう。当館では、それだけではなく、  
幅広い年齢の方々にたのしんでい  
ただける場となることをめざして、  
多様なプログラムを定期的を開催  
しています。一体どんなことができる  
のか？今回は、A.L.L.スタッフが  
おススメする美術館のたのしみ方を  
ご紹介します。

ワークショップ「リヒターの表現に挑戦！～抽象絵画をつくろう」のようす  
令和7年5月撮影

作品と対話、誰かと会話

「参加する」から「参画する」へ



鳥取県立美術館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

展示会の鑑賞のほかに、

# 美術館でどんなことができますか？

展示会以外で  
来ても  
たのしめるの？

美術館って、  
いろいろ  
できるの？

こどもと  
一緒にできること、  
あるかな？



これがおススメ！

鳥取県立  
美術館の  
過ごし方・  
楽しみ方

当館は「毎日アートを楽しめる美術館」をめざして、大小様々なイベントに力を入れています。こうしたイベントを目的にご来館いただくのも、もちろん大歓迎です！そんな美術館でのイベントが、他の施設とちがうところは、アートに身近に感じ親しむことを目的としているところ。この号では、美術館でできるオススメの過ごし方やワークショップなどをご提案します！

## いつでもみられるコレクションギャラリー

オススメ

1

コレクション展を、誰かとおしゃべりしながらゆったり味わってみる



小さな声なら、おしゃべり  
しながらの作品鑑賞も◎

美術館に展示された作品の前に立ち止まる時間は、平均8秒という調査があります。作品の前に立ち、キャプションを読み、もう一度ちらっと絵を見て次の作品へ。せっかく本物と出会えたのに、それではちょっともったいない！時には、キャプションを最初の手掛かりにせず、まずは作品をじっくりと見る、そして気づいたことや考えたことを誰かと共有する、そんな楽しみ方もオススメです。おしゃべりすることで、自分だけでは気づかなかった表現に気づいたり、同じものを見ていても、見る人によって見え方全く違うことに驚いたり！コレクション展で、そんな鑑賞を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### コレクション展は、高校生以下は無料

展示期間中に1回は行う展示室でのギャラリートークや関連ワークショップに友達や親子と一緒に参加してみるのも◎。また、水曜日午前中の「いっしょにみてみて水曜日」は、小さなお子様連れの方にオススメです。この企画に合わせ、鑑賞ガイドも設置しています。

水曜日の午前中に、コ  
レクション展に入ると  
もらえる鑑賞ガイド

## “一歩踏み込んだ”美術館への関わりを！

オススメ

2

「カフェA.L.L.で井戸端会議」に参加してみる

「カフェA.L.L.で井戸端会議」とは、2～3カ月に一度、参加者とその日のテーマを中心に“じっくりと話し、しっかりと聞く”オープンな会議です。美術館の活動や普及事業の可能性について一緒に考えることで、美術館の活動に「参画する」機会となります。これまでの井戸端会議では、和気藹々とした雰囲気の中、様々な視点からの意見やユーモアのあるアイデアが飛び交い、大変有意義な時間となりました。

4月に実施した井戸端会議  
のようす。お茶を飲みながら  
気ままにおしゃべり♪



### 多様な“楽しみ方”を 実現できる場所へ

アートの拠点として、多彩な展示会やワークショップ等の企画し「発信する」ことは、美術館の重要な機能の一つです。そして多様な利用者の声を「受信する」アンテナを持ち、その企画に活かすことが、真の意味でひらかれた美術館になるために必要なことだと考えています。

これも！

### 展示室以外は全て無料！

- ・3階の展望テラスや2階のギャラリースペース、屋外彫刻作品等をじっくり巡るのもオススメです！
- ・天気の良い日は、テラスやえんがわでのんびり過ごすのも◎

上記のオススメの他に、展示会関連のワークショップ（表紙や右下画像）や気軽に参加できる創作活動なども多数開催しています。イベントの詳細については、2カ月ごとに発行する「イベントガイド」や当館HP・SNS等をご覧ください。

## このいちまい

WS「リヒターの表現に挑戦！～抽象絵画をつくろう」（2025.5.10）



企画展「アート・オブ・ザ・リアル」で展示中のゲルハルト・リヒターのアブストラクト・ペインティングの表現方法に触れながら、抽象絵画をつくるワークショップを開催。展示室で本物の作品を見ながら学芸員の解説を聞いた後、作品づくりを行いました。画像は、4歳の子がつくった作品です。この出来栄え、いかがでしょうか！

## もういちまい

ティーモアさん※、日々大活躍！

「MUSEUM START BUS」では、ティーモアさんが小学生の充実した鑑賞活動や美術館体験を日々支えています。また、ひろまでの活動の来館者対応や広報物の発送作業などでも、ティーモアさんの活躍が、美術館のあちこちで見られます。みなさまのお力添え、ありがとうございます！

※鳥取県立美術館ボランティアの愛称。画像の左から4人目が、展示室で小学生とおしゃべりしながら作品鑑賞をするティーモアさん。



いつも  
お世話に  
なっ  
て  
いま  
す！

大  
賞  
券

とっておきの一冊を美術館にご寄贈いただけませんか？——「絵本寄贈プロジェクト」

自分のイチ推しの絵本を、美術館を訪れる子どもたちだけでなく、大人の方々にも紹介するプロジェクトを進めています。ご寄贈いただいた絵本は、キッズスペースを彩り、本を手にとり取っていただく方の新たな記憶として受け継がれていくかもしれません。ご参加頂ける方は、当館HPまたはチラシで詳細をご覧ください。

